

灯

新宿で旧交を温めたのだが、これまた雑踏をかき分けてようやく会食場にたどりついた。

先日、久しぶりに上京した。友人の勧めで渋谷のNHK近くに宿をとったのだが、駅から歩いて十分かかる場所だという。忠犬八子公前の横断歩道を渡ってホテルへ向かったが、何とも

数日後、仕事を終え、福岡空港から預けておいたマイカーで帰途についたが、大分自動車道に入ると走っている車はごくわずか。日田ICを降り、豆田の通りに入る

人が多い。東京の繁華

踏

街渋谷という土地柄の

雑

せいもあるが、それにしても広い横断歩道が人であふれている。週末ということもあって



草野 義輔

と夜9時すぎとはいえ誰も歩いていない。あの雑踏との落差をひしひしと感じた。

か、若者を中心に大勢の人で前に進むのが一苦勞である。

このことを東京の大学教授をしている

高校時代東京で過ごし、渋谷にもよく遊びに来た経験はあるのだが、長年の田舎暮らしに慣れてしまった人間には、この雑踏の中を歩き続けるのは相当骨の折れる仕事であった。その夜は昔の友人と

友人に伝えたところ、逆に地方はどうしてこんな人がいないのだろうと思うことがあるという。つい、日本はこれでいいのか？となぜか不機嫌になると同時に、この落差は正常ではない、という感覚を忘れてはいけなと思った。

(昭和学校園高校理事長・日田市)